

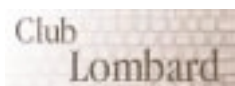
Club Lombard

Lombard開腹

必ずお読みください

PowerBook G3 Series (Bronze keyboard) (開発コード : Lombard)のハードウェアの増設・交換などに関する作業を解説したものです。すべての作業の前提として、個人で開腹した結果の故障については、保証修理にはならないことを了承し、自己責任において作業をしてください。作業に入る前は、かならずACアダプタとバッテリーは抜いておいてください。また、静電気にはくれぐれも注意してください。一瞬にして、全てを失うことがあります。

編集 : ほしいち



[Club Lombardのホームページへ](#)

Produced by Hoshi-ichi.
PDF file's supported by BlueGoat.

Lombard開腹 4 - 1

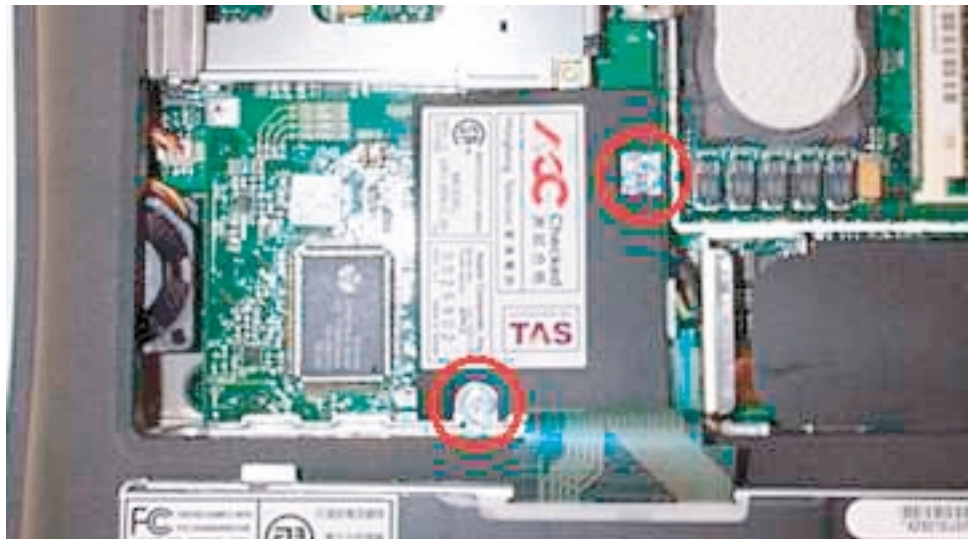
キーボード交換

PowerBookを国内で買う場合は事実上JISキーボードしか選択肢がありません。そこで、古くからのユーザーを中心に使い慣れているANSI配列のUSキーボードに交換することがよく行われています。

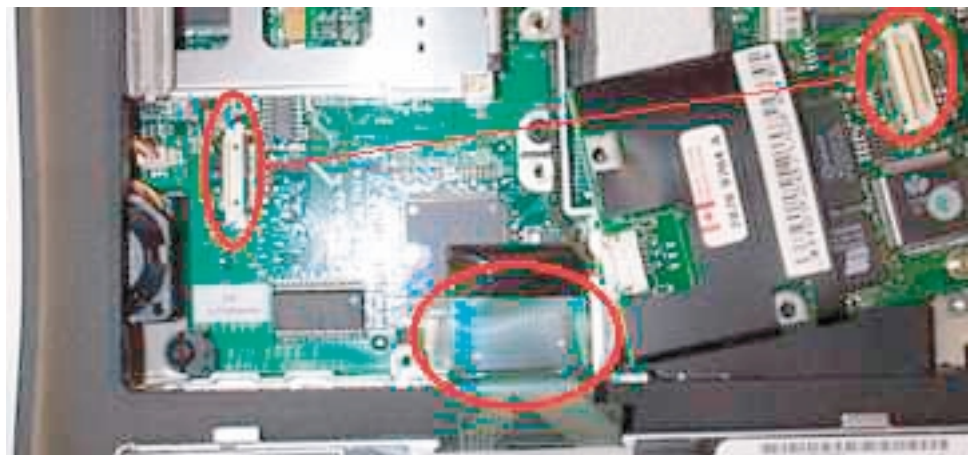
必要な工具：プラスドライバーとキーボードロックねじをゆるめるマイナスドライバー
作業時間の目安：馴れた人なら10分弱、初めての人でも30分くらい。

まず、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にしたがってキーボード、ヒートシンクをはずす。

[図 1] キーボードのケーブルをはずすためには、まず左側手前にあるモデムカードをはずす必要がある。図で示す2か所のねじをはずし、モデムカードを抜く。（[図 2]にある線で結んだ2つがコネクタ。この位置を意識しながら、抜くようにするといい。）

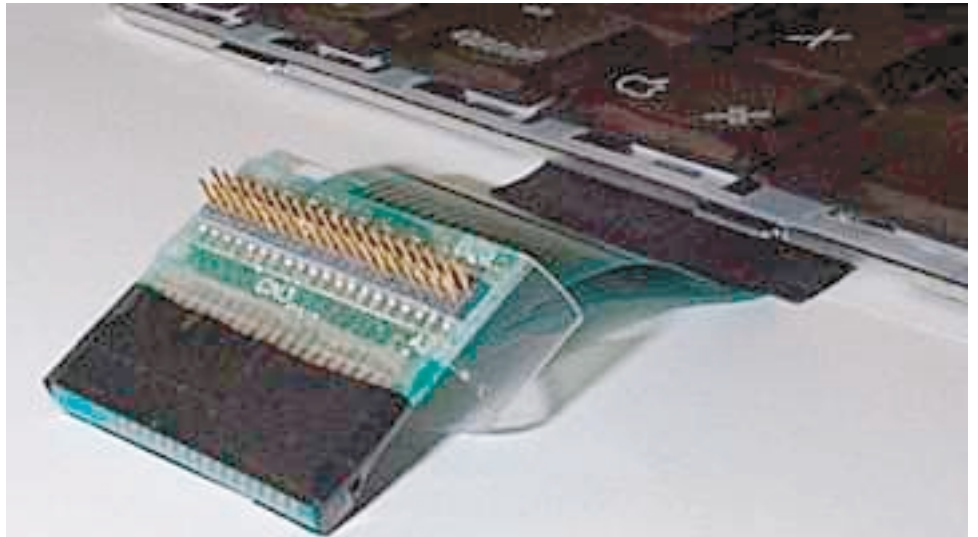


[図 2] モデムカードをはずすと、手前にあるキーボードのケーブル上にコネクタを抜くための取っ手状のフィルムがある。これを持って、丁寧にコネクタを引き上げる。（従来のものと違って、ロック機構がないので引き上げるだけではずれる。）



Lombard開腹 4 - 2

[図 3] これがキーボードのコネクタ。ピン状になっているので、抜き差しは丁寧に行わないと曲がってしまうことがある。注意しよう。



あとは、逆の手順で新しいキーボードと交換し、組み上げる。各スロットはきちんと差し込むこと。また、**キーボードとヒートシンクをはずす（共通作業）**にあるフェライトビードをヒートシンク下に挟まないように注意すること。ヒートシンクをはめるときは、奥側の5つのツメを本体側にしっかりと合わせる。キーボード手前の5つのツメもきちんとはめこむ。

[図 4] 組み上げたあと、バッテリー（またはACアダプタ）を差し込み、起動していない状態で、図で示す位置のリセットスイッチを先の細いもので押してリセットを行う。（この作業を行わないと、キーボードが正しく認識されない。）最後に起動し、アップルメニューにある「キー配列」で正しくキーインができていることを確認する。

